

赤十字支援者の声



興水 政直 (こしみず・まさな)さん

山梨県北杜市／48歳／土木工事業社長

誰かを救う活動に、関わっていききたいから

高校時代、ジュースをもらいに行く気軽な感覚で献血をしました。成分献血ならば2週間に1度できますから、気が付けば50回を超え、金色有功章をいただきました。たくさん献血しておいてよかったと思ったのは母が病に倒れてから。がんの治療で化学療法を受け、ひどい貧血に苦しんだ母は何度も輸血に救われました。誰かの献血、そしてそれを届けてくれる赤十字の存在に感謝しました。その時の恩返し、そして誰かを救うことに協力したいという思いで、今は寄付という形で赤十字の活動を支援しています。

私の会社では、AEDがここにあると一目でわかるように看板を設置しています。必要な時に近隣の方が使

えるように。以前、近くの畑でおばあさんが倒れているのを従業員が見つかり、すぐにAEDを使用しました。しかし、時すでに遅く、救命できませんでした。私も従業員もこういう時のために赤十字で心肺蘇生の講習を受けていたのでとても残念で…。建設業という仕事柄、いつも頭の片隅では皆さんの役に立つにはどうすればよいかを考えています。あまり知られていませんが、災害時には我々の業界が初動対応をすることがあります。緊急車両などが迅速に現場へ入れるように、重機を使って除雪したり橋をかけたりするのです。これからも誰かを救い、支えることを実践していきたいと思っています。

(出典：赤十字NEWS2月号No.969)

赤十字やまなし2021

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



救うを託されている。

日本赤十字社山梨県支部では、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」への救護班の派遣をはじめ、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の普及啓発活動や情報発信に取り組んでいます。



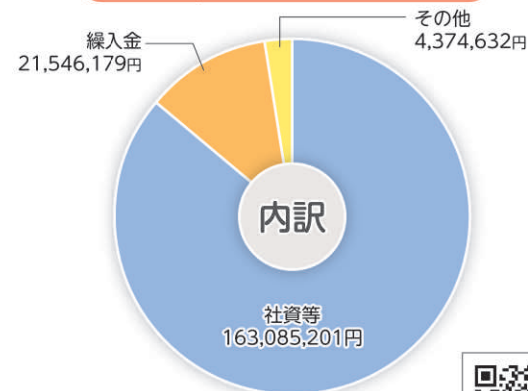
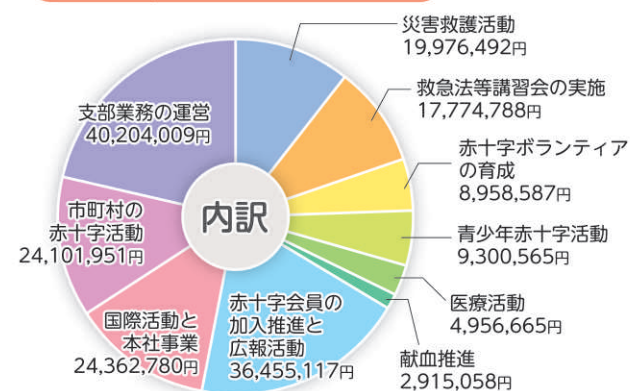
活動資金 —— 赤十字は会員の皆様に支えられ活動しています

皆さまからの会費はこうに使わせていただきました。

(令和元年度事業実績)

実績 189,006,012円

財源 189,006,012円



※令和元年度
決算報告書及び事業報告につきましては、ホームページをご覧ください。当支部までお問い合わせください。

日本赤十字社
山梨県支部
〒400-0062 甲府市池田一丁目6番1号
☎ 055-251-6711

山梨県赤十字
血液センター
〒400-0062 甲府市池田一丁目6番1号
☎ 055-251-5891

山梨赤十字病院
〒401-0301 南都留郡富士河口湖町船津6663-1
☎ 0555-72-2222

●甲府献血ルーム
「グレープ」
〒400-0031 甲府市丸の内一丁目16番20号 KoKoriビル2階
☎ 055-235-3135

支援してもらいたい理由がここに！ 活動資金ご協力をお願い

災害時、日本赤十字社に寄せられた義援金は、その全額が被災者の方々に届けられます。一方で、被災地や海外での医療救護活動や救援物資は、皆さまからの会費やご寄付である「活動資金」によって成り立っており、人道支援活動の支えとなります。活動を計画的・継続的にを行うために、ご協力をお願いいたします。

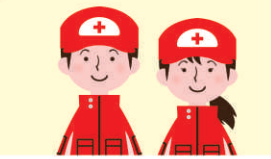


そうだったのか!! 赤十字活動資金の使い道

皆さまからのご寄付は、ここでご紹介する「災害救護活動」をはじめ、苦しむ人を救う様々な活動に大切にに使わせていただいています。



ありがとうございます!



1 平時の備え



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

災害時に迅速に対応するため、災害救護訓練、資機材の整備、ボランティア育成等を行っています。



災害救護訓練

被災地で迅速に医療救護活動を展開するため様々な災害を想定した訓練を実施。



ボランティア育成

災害時はもちろん、日頃から地域・学校で活躍するボランティアを育成します。

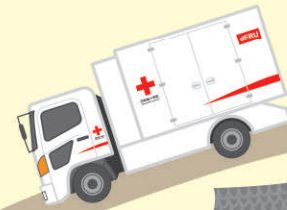


日頃やっていないことは、いざという時にできない。

皆さまからの
ご寄付 (赤十字
活動資金)

少しでも体を休めて
いたたくために。

救援物資の配布



被災地での活動

4



様々な機材と連携します!

救援物資の備蓄

災害時に必要となる物資を、様々な拠点に配備しています。



被災地へ出発



すばやく! 正確に!

■主な救援物資



緊急セット



安眠セット



毛布

災害発生

日本赤十字社が
総力をあげて対応



被災地で行う活動 1



医療救護

被災地の医療ニーズに合わせ、救護所の設置や巡回診療を行います。

被災地で行う活動 2



こころのケア

災害はこころにも大きな傷を残します。少しでもこころが休まるよう寄り添います。

被災地で行う活動 3



血液製剤の供給

全国の血液センターが連携し、災害時も必要な血液を安定的に供給します。

医療救護班や救援物資は、陸、海、空、様々な手段で被災地へ



準備完了!



ボランティアと共に
必要な物資を準備



全国の赤十字が連携し、被災地に向けて職員を派遣する準備をします。

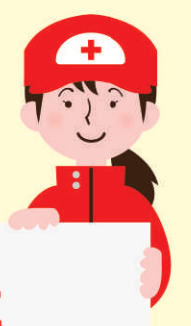


地域防災力の向上

地域の自助・共助の力を高めるため、いのちを守る知識と技術を伝えるセミナーを実施しています。



今後、発生が予想される
大規模災害に
備えるためにも...



赤十字活動資金に
あたたかいご協力をお願いします



なんでも
お助け
ください。

糸継ぎして
お救いください!

5

未来へつなげる

過去の災害救護で培った経験を忘れずに、未来へつないでいきます。



きげん
はっけん!



こどもたちへの
防災教育

未来を担うこどもたちへ、自然災害の正しい知識と、自ら考え生き抜く力を。